

平成28年11月16日

京 都 市

都 市 計 画 局

歩くまち京都推進室

電話：222-3483

公共建築部公共建築建設課

電話：222-3651

建設局

道路建設部道路建設課

電話：222-3577

## 京都駅八条口駅前広場整備事業の完成について

京都市では、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、「歩くまち・京都の玄関口」、「京都の顔」、「まちの賑わい」を3つの基本方針として、快適な歩行空間の創出や公共交通の乗継利便性の向上など、誰もが安全で快適に歩きやすい歩行者空間の創出を目指し、平成23年3月に基本方針や施設配置をまとめた「京都駅南口駅前広場整備計画」を策定しました。この整備計画を踏まえ、平成26年11月に駅前広場工事に着手し、平成28年3月には、駅前広場の核となる拠点広場「みやこ夢てらす」及び送迎ゾーン等の整備が完了し、その後もサンクンガーデンや貸切バス乗降場等の整備を進めてきました。

この度、12月に工事が完成し、グランドオープンする運びとなりましたので、お知らせします。

### 1 整備の基本方針等

#### (1) 基本方針

ア 「歩くまち・京都の玄関口」

- ・ 使いやすく、人にやさしい交通結節点としての機能の確保

イ 「京都の顔」

- ・ おもてなしの心を備えた広場の形成

ウ 「まちの賑わい」

- ・ 活気溢れる賑わいの広場の形成

#### (2) 整備内容の特徴

ア 公共交通の乗継利便性の向上

- ・ 路線バス乗降場の集約化
- ・ 雨に濡れずに乗り継ぎができる屋根の設置 など

イ 快適な歩行者空間の創出

- ・ 段差のないバリアフリー対応の歩行者空間
- ・ 自転車通行環境を整備し歩行者空間と分離 など

ウ 限られたスペースの有効活用

- ・ 八条通の交通量を踏まえた車線数の見直し（6車線→4車線）
- ・ 地下空間を有効利用した機械式地下駐輪場の採用 など

## 2 京都駅八条口駅前広場整備事業の主な整備内容について

### ◇ 公共交通の乗継利便性の向上

#### (1) 拠点広場「みやこ夢てらす」(供用済)

- ・ デザインは、京都を訪れる多くの方々をお迎えする場所、また、京都から出発される場所として、まちの玄関である京都駅の南口における「門」を象徴的に表現する大屋根によるシンプルなものとしました。
- ・ 拠点広場「みやこ夢てらす」は、南北自由通路と直結し、階段、エスカレーター4基(東西に各2基)、エレベーター3基を備えており、これにより路線バス乗り場や一般車送迎スペース等へ、雨に濡れることなく直接アクセスできます。

拠点広場「みやこ夢てらす」 外観



拠点広場「みやこ夢てらす」 内部



#### (2) 路線バス乗り場(供用済)

##### ○ 整備前

- ・ 整備前は、駅の東西に分散して路線バスや高速バス等のバス停が配置されており、利用者にとって分かりにくいものとなっていました。

##### ○ 整備後

- ・ 路線バス及び高速バス等のバス停を、駅正面に集約し、鉄道との乗り換えが多い市内路線バスを拠点広場「みやこ夢てらす」から近い位置に配置し、公共交通の乗継ぎ利便性の向上を図りました。
- ・ 雨天時でも雨に濡れずに鉄道と乗継ぎができる屋根を設置しました。

路線バス乗り場



## ◇ 快適な歩行者空間の創出

### (3) 施設案内の充実（12月完成予定）

- ・ 鉄道と路線バスの乗り継ぎやユニバーサルデザインにも配慮し、情報が途切れないよう交差点や動線の分かれ目には案内サインを設置しました。
- ・ 施設の整備に加え、拠点広場「みやこ夢てらす」等の人が集まる場所に駅周辺の地図や路線バスのりば等を掲載した総合案内板を設置しました。特に拠点広場「みやこ夢てらす」には音声案内機能を付けた総合案内板を設置しました。

総合案内板（みやこ夢てらす）



### (4) サンクンガーデン（12月完成予定）（収容可能規模 約300人）

#### ○ 整備前

- ・ 整備前のサンクンガーデンには、上屋が設置されておらず、利用者がくつろげる空間とはなっていませんでした。

#### ○ 整備後

- ・ 貸切バス乗降場のすぐそばに上屋と大階段を整備し、修学旅行生など約300人の方がバスを待てるスペースを確保し、利用者にくつろいでいただく空間としています。
- ・ 地上部においては、公衆トイレを設置するとともに、利用者に快適にお使いいただけるよう、水飲み場やドライミスト設備を設置しています。
- ・ サンクンガーデンと地上部を結ぶエスカレーターを2基設置します。

サンクンガーデン 外観（イメージ）



サンクンガーデン 大階段（イメージ）



#### ◇ 限られたスペースの有効活用

##### （５）送迎ゾーン（供用済）

（一般車送迎スペース 7 台（うち身体障害者優先スペース 2 台）、送迎バススペース 3 台）

##### ○ 整備前

- ・ 整備前は、駅正面の大部分をタクシー待機場やパーキングチケットが占めており、送迎のための停車スペースはなく、送迎の際の乗降は、自動車が行き来する八条通の路肩に停車して行われている状況でした。

##### ○ 整備後

（ハード面）

- ・ 八条通の車線数を 6 車線から 4 車線に見直し、パーキングチケットの廃止など施設配置の見直しにより空間を確保し、障害のある方、一般車及び送迎バスのための乗降スペースを、新たに駅正面東側に整備しました。
- ・ 雨天時に御利用の方が雨に濡れずに乗降できるよう屋根を設置しました。

（ソフト面）

- ・ 一般車送迎スペースは人の乗降のための停車以外は駐停車禁止であり、アバンティ地下にある京都駅八条口駐車場では、駅への送迎のため短時間駐車される方を対象として 30 分間無料となる料金割引を実施しており、更なる利便性の向上を図っています。
- ・ また、利用者の方々に一般車送迎スペースのルールを御理解いただくため、警備員を配置するなど周知に努めています。

送迎ゾーン（一般車乗降場）



(6) タクシー乗降場（供用済）

（乗り場4台、大型・予約タクシー乗り場8台、タクシー待機場51台、降り場5台）

○ 整備前

- 整備前のタクシー乗降場は、乗り場、降り場及び待機場が同じスペースにあり、出入口で乗車タクシーと降車タクシーに加え、待機場に入りきれないタクシーが八条通へ溢れ出し、一般車や路線バス等の通行を妨げる状況となっていました。

○ 整備後

（ハード面）

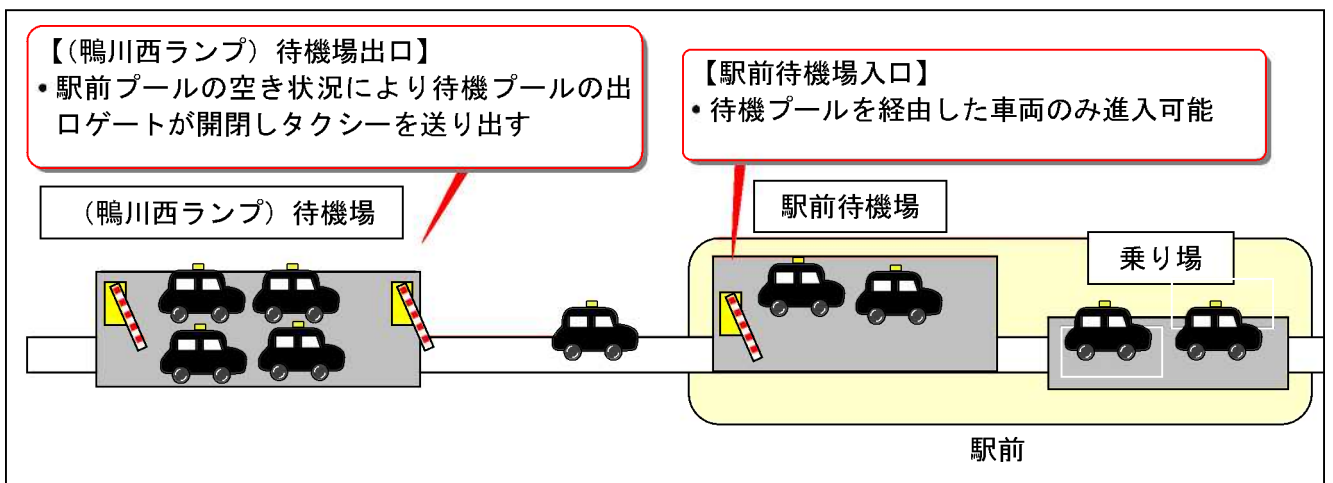
- タクシー乗り場（駅正面西側）と降り場（駅正面東側）を分離し、駅前広場内の通行の円滑化を図りました。
- タクシーをスムーズに乗り場に誘導するため、乗り場の西側にタクシー待機場を整備しました。

（ソフト面）

- 乗り場から離れた場所に待機場所を設け、駅前のタクシー待機場の空き状況に応じて、タクシーを送り出すショットガン方式を導入しました。



タクシーショットガンのイメージ図



(7) 貸切バス乗降場（12月完成予定）（収容可能台数12台）

○ 整備前

- ・ バスとタクシーの乗降場が近く、さらに進行方向が同じで幅輦していたため、八条通の混雑の原因の一因となっていました。
- ・ 乗降場への入場を待つバスが路上に溢れ出し、路上での乗降も見られ、一般車や路線バス等の通行を妨げる状況となっていました。

○ 整備後

(ハード面)

- ・ 大型バスが発着する貸切バス乗降場は、タクシーの経路と分離してアバンティ前に整備しています。
- ・ 乗降場の規模は、整備前の2倍（6台→12台）に広げています。
- ・ 雨天時に御利用の方が雨に濡れないようにするため、上屋を設置しています。
- ・ 乗降場に隣接して階段、エレベーターを備え、貸切バスを利用される方がサンクンガーデンや京都駅の地下街等へ直接アクセスできるようになります。

(ソフト面)

- ・ 乗り場から離れた場所に待機場所を設け、ショットガン方式を導入することにより、貸切バスが道路上にあふれ出すことを防止します。

貸切バス乗降場 外観（イメージ）



(8) 駐輪場等（駐輪場：供用済）、（バイク駐車場：供用済）

（駐輪場 852台、バイク駐輪場 58台）

○ 整備前

- ・ 整備前にも駐輪場は整備されていましたが、需要に対して十分なものではなく、また限られた歩行スペースを駐輪場として利用していました。

○ 整備後

- ・ 限られた空間を有効活用するため、地下空間を利用した高い収容能力をもつ機械式地下駐輪場を、京都府内で初めて採用しました。
- ・ 機械式地下駐輪場は、八条西洞院付近に2基、アバンティ前に1基、合計3基整備しました。（収容台数は一基あたり204台、合計612台）
- ・ 機械式地下駐輪場に入庫できない自転車などのため、地上部にまちかど駐輪場（240台）を整備しました。
- ・ バイク駐車場（原付：52台、自動二輪：6台）についても、今回の整備に伴い、平成28年10月にリニューアルオープンしました。

機械式地下駐輪場



まちかど駐輪場



### 3 完成記念式典の開催について

- (1) 日時 平成28年12月15日（木） 午前11時から
- (2) 会場 龍谷大学 響都ホール（アバンティビル9階）
- (3) 内容 主催者式辞、来賓祝辞など

**参考**

(1) 事業区間 南区西九条池ノ内町 ～ 南区東九条西山王町

(2) 延長・幅員 L=850m W=36～74m

(3) 事業費 約45.6億円

(4) これまでの事業経過

平成23年 3月 京都駅南口駅前広場整備計画 策定

平成25年 5月 都市計画変更

7月 事業認可取得

平成26年 6月 機械式地下駐輪場工事 着工

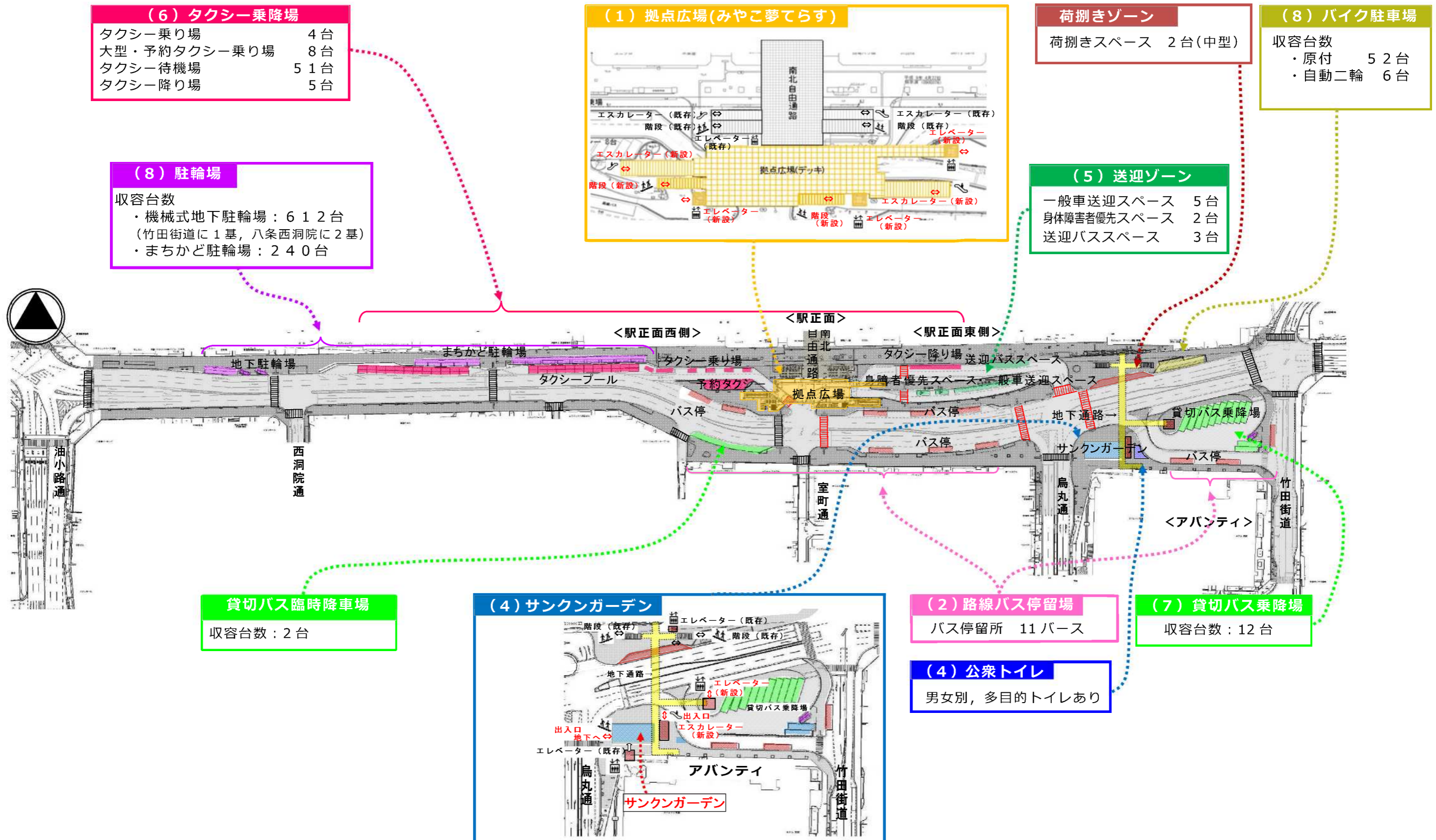
11月 駅前広場整備工事 着工

平成28年 3月 駅正面の拠点広場等完成 (プレオープン)

平成28年 12月 駅前広場整備工事 完成 (グランドオープン)



# 京都駅八条口駅前広場整備の詳細図



# (参考)京都八条口駅前広場 整備前の状況

◆歩行者空間  
限られた歩行スペースを駐輪場として利用



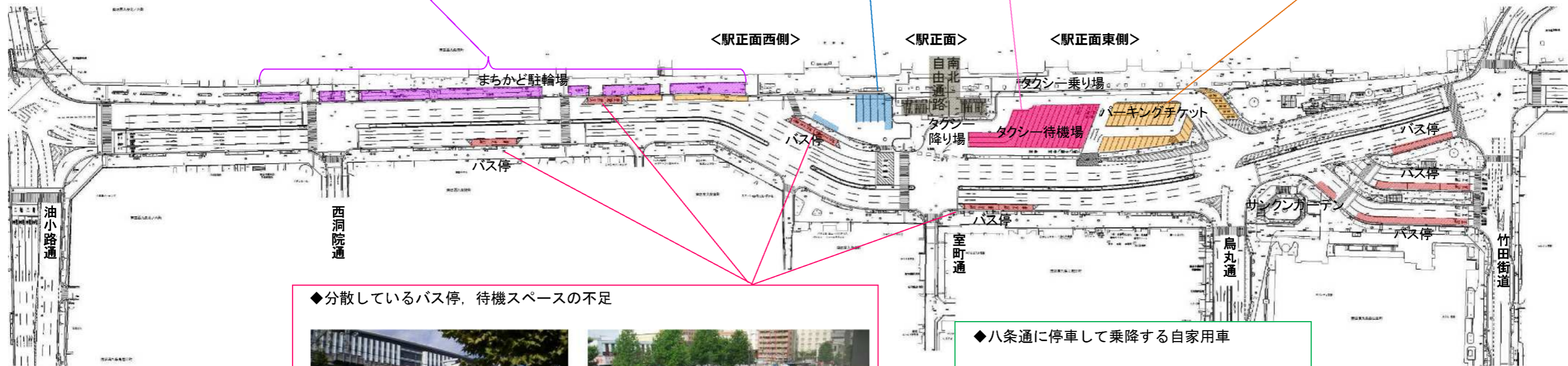
◆観光バス  
観光バスプールの不足、タクシー動線との輻輳



◆乗車と降車のタクシーが混在



◆駅正面の大部分を占めるパーキングチケット



◆分散しているバス停、待機スペースの不足



◆八条通に停車して乗降する自家用車

